



活力ある地域社会と人のふれあい

ともに一緒に

後援会結成大会特集

寺田 守

後援会だより

創刊号
2009.3

発行：寺田守後援会 会長 鈴木昌二
袋井市久能1810-11 TEL: (44)1351



地域と市政の橋渡し役として 頑張ります。

市政に新しく挑戦します。ご支援下さい。

調和ある地域社会の発展を 目指します。

安全安心、環境、文化に配慮したまちづくり。

寺田 守 (てらだまもる)

後援会 会長あいさつ



寺田 守 後援会
会長 鈴木 昌二

向春の候、皆様方におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じ上げます。

さて、この度、地域の代表として寺田守さんを市政に送り出すため、後援会を結成致しました。

地域を活性化させ、まちづくりを進めるためには、新しい人材の市政での活躍がどうしても必要です。

寺田守さんは、この地域で生まれ育ち、地元の会社で活躍してから今回、地域の代表として市政への参画に情熱を燃やしています。

後援会では、こういった寺田守さんを全面的に支え、応援して行きたいと思っております。

是非、皆様の熱いご協力とご支援を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

寺田 守 後援会結成大会

平成21年2月22日、新しく建設されたJA遠州中央農協、袋井支店、2階大会議室には多くの支持者の皆様がお集まりいただき、また各方面からお祝いのお言葉を頂戴しました。



▲結成大会風景

ご来賓の方の挨拶



▲市政を良くするには全国から見た視点も必要、経験を活かしてほしい。

原田英之氏 [袋井市長]



▲地元企業で働いてきた経験を市政に活かし活躍してほしい。

柳沢伯夫氏 [衆議院議員]



▲地域のため良い決断をしてくれた。頑張っていて欲しい。

奥之山 隆氏 [静岡県議会議員]



▲これからの市議会議員は片手間では無理、全面的に取り組める議員が必要。

伊豫田貞雄氏 [袋井市議会議員]



▲民間会社で培った知識と経験を市政という新しい場所で活かしてほしい。
鈴木直二郎氏 [静岡製機(株)社長]

激励の言葉



▲袋井市の中心とも言うべきこの地域での活躍を期待します。
顧問代表 塚本正樹氏



▲結成大会にご出席いただきました各界の御来賓の方々



▲同級生として最初から相談を受け応援してきました。
同級生代表 高橋正則氏



▲お集り頂いた後援会支持者のみなさま。



▲男女共同参画社会の実現、女性からの視点も忘れないでください。
女性代表 加藤スミ子さん



▲今後の活動計画を発表する山本日出夫幹事長

本日は、この結成大会のため多くの皆様にお集まりいただき誠に有難うございます。

昨年12月、後援会の結成をお願いして以降2ヶ月、多くの皆様のご協力で本日のこの結成大会を迎えることが出来ました。ここまで来ました関係者の皆様の並々ならぬご努力に心から敬意を払うと共に、改めて御礼申し上げる次第です。

さて私は、この後援会作りをお願いするにあたり、冒頭にある「活力ある地域社会と人のふれあい、ともに一緒に」ということを訴えてきました。

ここで言う活力ある地域社会とは何か、と言うことではありますが、ご承知のように世界的な不況がこの地域社会にも暗い影を投げ掛けています。私たちはともすれば悲観的な思いになりがちではありますが、否そうであるが故に一層希望を絶やさず将来に向かって耐え、進んでいかなくてはならないと思います。

ではそうした中であって私たちは何に希望を見つけていったら良いのでしょうか。

大きな世界のこと、大きな経済社会のことは一旦置いて、私はこの地域にあって、希望を見出すとすれば、一つ目はこの地域は子供達の増加を含め、バランスの取れている地域の一つだということがあるかと思います。

私は昭和24年生まれ、いわゆる団塊の世代に当たります。私たちが生まれ育ち、社会に出て行く過程で社会には活力が生まれ発展しました。また私は営業で全国を回る機会に恵まれましたが、そこで過密や過疎、高齢化と言った偏った地域も見てきました。そういった地域と比較すると、この地域は非常に恵まれた、可能性のある地域ではないかと思っています。

また、二つ目はこの地域の立地条件です。これから先、第2東名の森ICと現在の東名・袋井ICは新しい道路のよって繋がり、交通、産業立地のインフラが進んでいきます。将来、

候補者 寺田守 あいさつ



この地域は、第2東名を見据えつつ、袋井市の中心として発展していくものと考えます。

次に、人のふれあい、ということを考えてみたいと思います。良く言われますように、都会では繁栄の影にあって、一人寂しく亡くなっていく孤独死が問題になっています。この地域も例外ではないかもしれませんが、それでもこの地域には人の触れ合いが残っています。道で会えば挨拶する、地域の体育、文化の交流も盛んだ、歴史的な遺跡、寺院も残っており、身近にふれることが出来る。これはこの地域の大きな財産ではないかと思っています。

このところ大きな社会問題になっておりますいわゆる振込み詐欺ですが、例えば一週間、否1ヶ月に1度でも親子が連絡を取り合っていれば、このような犯罪は大きく減少するとも言われています。

貧しさとは人と人との関係の貧しさだと言った人がいます。防犯、高齢化、教育、生活、防災等々を考えた時、やはり人のふれあいが大切であり、社会の根本を形成するものと考えます。

一人の力は知れたものです。しかし多くの人に関心を持ち進んでいけば、大きな力になり、地域を動かしていくものになると思います。

『ともに一緒に』、これはこのような私の思いを表現したものです。共にがんばっていけば将来の明るい展望も必ず開けて行くものと思います。

後援会も本日をもって結成の日を迎えましたが、本当の活動はこれからです。私はその先頭に立ってがんばります。どうか皆さん、今後ともご支援ご協力お願い申し上げます。

本日は有難うございました。

《寺田 守 略歴》

昭和24年1月生まれ 袋井市久能、在住
袋井北小学校、袋井中学校、磐田南高等学校、立命館大学 卒業
静岡製機株式会社 勤務、昨年退職

【地域活動】

少林寺拳法遠州袋井道院：副道院長 青少年を指導